



校訓

「夢を持って歩み続ける」

陽光(さん)

令和7年12月15日 第17号 文責 梶原 圭一



第41回菊陽町人権子ども集会



12月6日(土)に、「部落差別をはじめあらゆる差別をなくす 第41回菊陽町人権子ども集会」が菊陽中学校体育館で行われました。町内小中学校の児童生徒や保護者、町内の方々など、多数の参加がありました。本校からも4年生以上の希望者が多数参加し、一人ひとりの人権が尊重される人権共存社会の実現に向けて学び合いました。この人権子ども集会は、今回で41回目を迎え、菊陽町で大切に続けられてきている集会です。本年度策定された『第7期菊陽町総合計画』の「基本施策1-6 人権・男女共同参画」の具体的な取組1に「人権意識の確立と人権擁護の推進」が示されており、すべての人たちの人権を大切にしまちづくりと取組が長年進められていることが分かります。

ステージ発表では、学校で取り組んでいることや、人権学習及び様々な学習の機会から自分事として考えたことの紹介がありました。どの学校も人権教育を大切にしていることが伝わり、本校の子どもたちも刺激を受けたようでした。また、発表に対して返しの意見を述べる時間がありましたが、本校の子どもたちも活発に手を挙げて思いを伝えようとする気持ちが伝わってきました。参加した子どもたちには、「ここで学んだことを、この集会に参加できなかった友だちにも伝えて、みんなでいじめや差別のない学校を、みんなの手で創っていきましょう」と伝えました。「暴力・暴言で気持ちを伝えるのではなく、自分の気持ちを言葉で伝える」「相手の本当の気持ちを知るために、その人や周りの人の話や思いを受け止めて聴く」「いじり・いじめをなくすために、いじり・いじめに気づき、一緒になくしていく仲間をつくり、増やしていく」という集会テーマをもとに自分自身を振り返り、誰もが安心して暮らせる町の創り手となるために、一人ひとりの人権感覚を磨いていってほしいと願っています。

ストレスと上手に付き合うために

学校生活をはじめ、子どもの悩みや問題を解決するための手立てとして、また、子どもたちの心のケアや保護者の方の子育ての悩みに対応するために、学校にはスクールカウンセラーが派遣されています。本校に派遣されているスクールカウンセラーに、5年生を対象に「ストレスと上手に付き合うために」という内容で講話を行っていただきました。高学年になると、人間関係やメディアの影響などで不安を抱え、心身に様々なサインが現れてくることもあります。人はそれぞれものの見方や考え方が違うこと、ストレスを感じていることを様々な視点から見つめ直してみるなど、とても分かりやすく話していただきました。



オープンスクール ありがとうございます

12月12日(金)にオープンスクールを行いました。たくさんの保護者の方々に子どもたちの授業を見ていただき、ありがとうございました。子どもたちが授業中に活躍したり、真剣に学習課題に取り組んだりしている様子を保護者の方にも見ていただこうと、学年部で内容をしっかり検討して授業づくりを行いました。性教育や人権学習、総合的な学習の時間など、授業内容は様々でしたが、子どもたち一人ひとりが学校生活の中で成長していることが伝わったことと思います。

1月に入ると、今の学年の学習のまとめや進級・進学に向けての準備も進んでいきます。日々の学びを大切にしながら、子どもたちの成長を支えていきたいと思っています。



<1月の主な予定>

1月 8日(木) 後期後半開始日 1月 9日(金)・1月13日(火) 6年国際理解出前授業
1月21日(水) 自分で弁当を作る日 1月22日(木) 5年金融教育